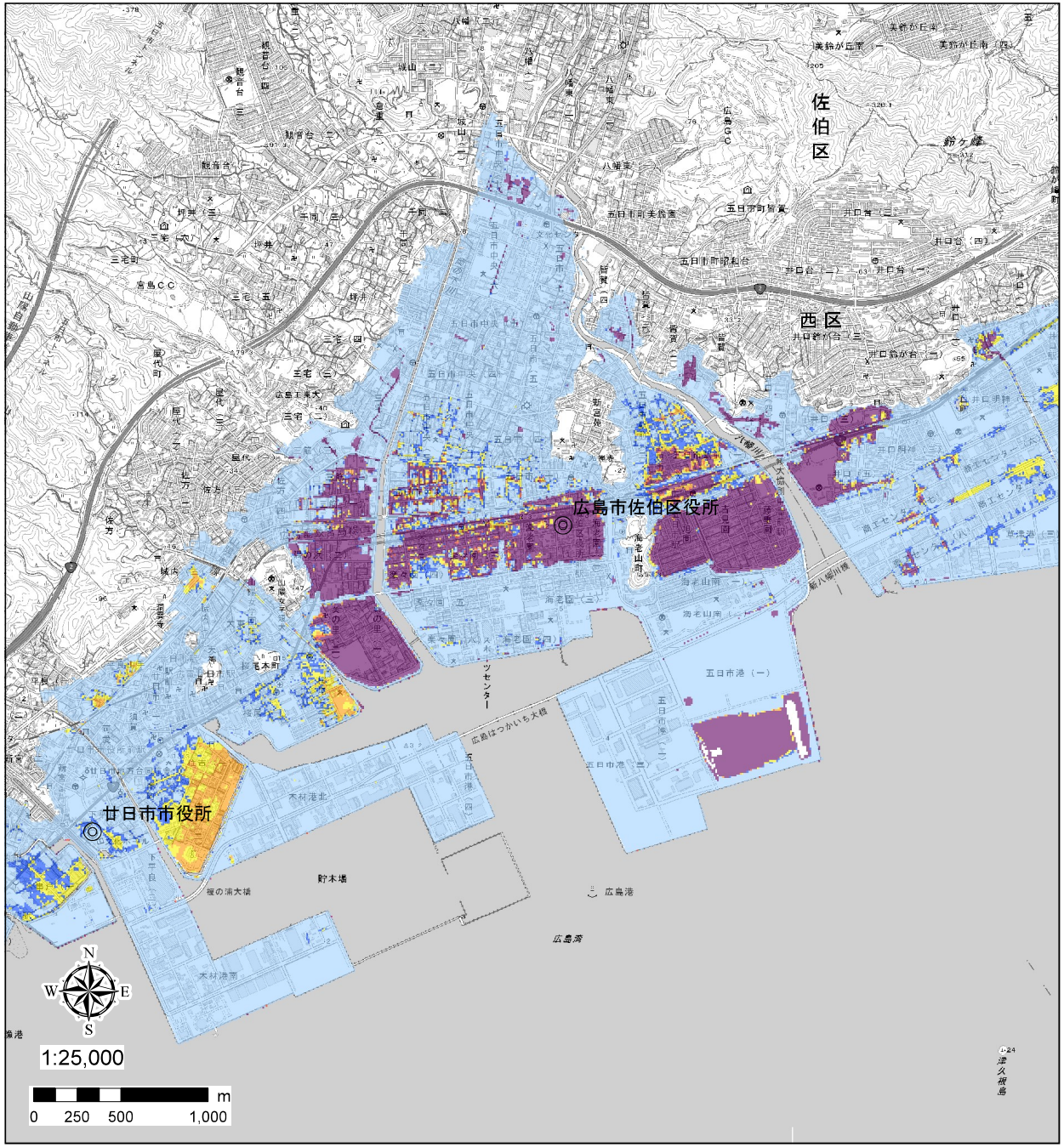
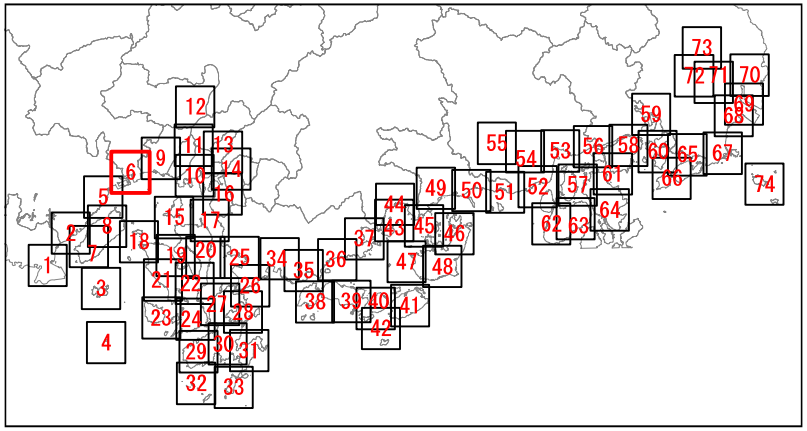
広島県高潮浸水想定区域図6（浸水継続時間）

廿日市市3/5-広島市1/8



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1JHs 1408

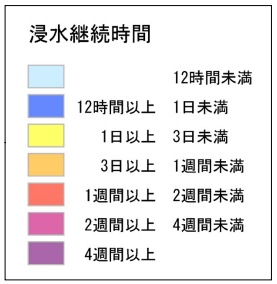


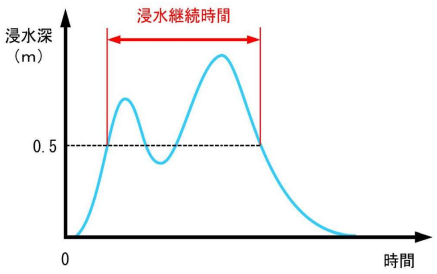
［留意事項］

- ○ 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水域）、浸水の継続時間を表示した図面です。
- ○ 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で高潮偏差（高潮水位と天文潮の差）が大きくなるよう複数の経路を設定して高潮浸水シミュレーションを実施しています。この複数のシミュレーション結果から、最大となる浸水域、浸水継続時間を抽出して、表示しています。
- ○ 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）は、ハード対策では守れないような最大規模の高潮に対する危機管理、警戒避難体制の充実を図ることを目的としており、今後のハード対策に資するものではありません。
- ○ 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- ○ 高潮の遡上等により、河川から流入することを想定しています。
- ○ 局所的な地盤の凹凸や建築物の影響のほか、前提とした各種条件を超える事象、想定していない雨水出水（内水）などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- ○ 自然排水を想定しており、排水管などによる排水、蒸発や地下への浸透は考慮していないため、窪地においては4週間以上浸水が継続することになります。
- ○ 高潮シミュレーションに使用している地形データは、平成21年度から平成24年度に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、埋立や盛土等の地形改変により地図と浸水深の表示範囲等、現状と異なっている場合があります。
- ○ 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- ○ 確実な避難のためには、気象庁が発生する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- ○ 技術的な知見等の変更があった場合は、区域図の見直しを行います。

［用語の解説］

- ○ 浸水継続時間：0.5m 以上の浸水深が継続する時間





作成年月：令和４年３月　作成者：広島県